

講義名	研究演習		
講義コード	45046	授業形態	
担当教員	山川 拓也		
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5時限		
備考			

## ゼミ

山川拓也ゼミナール

## 学部

人間社会学部

## 学科

観光学科

## 演習名

観光商品論 / 観光マーケティング / コミュニティ・ツーリズム / 国際観光

## 概要説明

観光経験としての「生活文化体験」をキーワードに、地域マーケティングの手段の一つとなる『観光商品』について問い直し、理論と実践の両方から基礎となる思考や企画開発手法を学んでいく。消費に関するニーズやトレンドの変化、移動のグローバル化などを受けて、旅行者の観光スタイルも多様化していることから、<sup>1</sup>地元で考え、地域に合わせて行動し、グローバルの仕組みを活用する - “Think globally, act locally. Think locally, act globally.” という基準に照らし、考えていきたい。研究演習 に続く研究演習 では、より高度なレベルでの観光商品企画に取り組むと同時に「旅行・観光の商品化」に関する探究の深化を図り、後半には研究成果発表の場への参加を目指したい。前年度と同様、観光イノベーションの地平を切り拓くことを目指し、創造的で刺激的な議論を深めていきたい。

## 学位

博士（経済学）

## 教員よりの要望

ゼミ運営ポリシーは、『楽しく真面目に研究する、真面目に楽しく研究する』です。ポリシーを実行するためには、皆さんのゼミに対する“前ノメリな姿勢”が不可欠となります。『観光』とは、社会の中に広く実在しているものです。必然的にフィールドワークなどで現場に出向く機会は多くなりますし、関係する様々な立場の方々と交流する機会も増えると思います。したがって、それに対して積極的になれない・聞わろうとしない人は、向いていないと思います。ところが、ゼミに集う者同士で互いに切磋琢磨し、ゼミでの「価値」を共創しようとする学生にとっては、充実した意味のある経験・学びに昇華させることができるのではないかと思います。

## 教員英字氏名

Takuva YAMAKAWA

## 研究室

研究棟 5418

## 最終学歴

大阪府立大学大学院経済学研究科 経済学専攻 観光・地域創造分野 博士後期課程修了

## 主な研究活動・社会活動・研究業績

【研究テーマ】 観光経験としての『生活文化体験』の商品化  
研究の中心に「異文化体験としての旅行」を据えつつ、新たな観光商品開発や地域ブランド戦略、国際観光戦略、コミュニティ・ツーリズムに関心を寄せる。

【主な社会活動】  
（広島）安佐商工会青年部 かわなみサイクリングロード実行委員会アドバイザー  
（広島）緑川地区魅力発掘・発信検討委員会アドバイザー  
（広島）NPO法人「地域力で里山を再生する会」理事

【主な研究業績】  
山川拓也（2015）『海外旅行における文化的価値を基盤とする旅行業の再定義化：旅行会社の商品マーケティング戦略における文化論的視点』  
『日本国際観光学会論文集』22：97-102。（査読付論文）  
崔載玄・山川拓也（2016）『新しい観光のコンセプト：韓国における公正旅行と訪日観光』『日本国際観光学会論文集』23：91-99。（査読付論文）  
山川拓也（2017）『ハワイへの日本人観光パッケージツアー商品の生産と消費に関する一考察：マクドナルド化とエスノセントリック性の観点から』  
『広島文教グローバル』1：47-61。  
山川拓也（2018）『団体ヨーロッパツアー造成に関する研究：異文化間インテグレーターとしての添乗員機能の分析』博士学位論文（大阪府立大学）

## 主な卒業論文のタイトル

【2016年度 - 2018年度】（前任校での論文指導）  
観光でのスペース・シェアリングと異文化交流の関係についての研究  
訪日外国人旅行者の旅行態度とその認識に関する研究  
広島県のインバウンド観光活性化に関する研究  
空港業務におけるサービスの機械化に関する研究：羽田空港と“変なホテル”を事例に  
高齢化社会における観光  
出雲大社観光の光と影：地域におけるホストとゲストの関係性に着目して  
高齢者観光における身体的サポートの研究：バリアフリー化と車椅子使用に着目して  
中山間地域における地域振興施策の課題：“ひろしまさとやま未来博2017”から考える効果的な地域振興施策とは  
東京ディズニーリゾートの顧客満足（CS）に関する研究：企業と顧客における価値共創の視点から  
オタクの「コスト消費」：マーケティングに関する研究  
伝統的郷土芸能である「神楽」の伝承に関する研究：後継者不足問題と団員の心理との関係性

## 趣味・特技

海外旅行（その土地の「生活文化」が垣間見える路地裏探索、リゾートでのんびり、A級・B級を問わず美味しい食事を見つける、この3つが特に好きです）  
神輿担ぎ（毎年、京都・祇園祭や大阪・天神祭で神輿を担いでいます）  
弓道

## 所属

人間社会学部 観光学科

## 所属学会

日本観光研究学会、日本国際観光学会、日本商業学会、日本マーケティング学会、地域デザイン学会

## 専門分野

観光マーケティング（観光商品論）、コミュニティ・ツーリズム、国際観光

## 選考方法

## 担当科目

旅行事業経営論、観光文化論、観光地理学、観光施設計画論、自己発見とキャリア開発A・B、研究演習

## 備考

週末や休暇中に活動を実施することがあり、原則は全員参加を求める。活動に係る諸費用（交通費・宿泊費など）について、過大負担にならないよう配慮するが、基本的に各自負担となる。所属学生は、「観光文化論」「旅行事業経営論」（前期）、「観光施設計画論」「観光地理学」（後期）の受講を求める。

## 評価方法

ゼミ運営ポリシーの理解ならびに実行、取り組みの姿勢（積極度、協力度、貢献度、参加態度など）、タイムマネジメント（出席、遅刻、早退、提出期限など）、研究課題の内容（各種ワーク類、成果物、発表・プレゼンなど）を鑑み、総合的に評価する。

## 実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」  
旅行業および旅行サービス手配業での実務経験（欧州を中心とする海外団体旅行の企画造成、営業、添乗、海外駐在、市場戦略などのマーケティング）を活かし、旅行・観光の商品化に関する思考を深化させるようにする。